

★2019 年度地質の日記念 第 8 回街中ジオ散歩 in Hamura 「東京の水インフラと地形・地質～羽村取水堰とその周辺～」徒歩見学会

身近な地質とその地質に由来する地形について、それらを利用してきた先人から現在の私たちまでの営みを、専門研究者の案内で楽しく学ぼうという企画です。今回は、玉川上水の取水口である羽村取水堰を見学します。玉川上水及び羽村取水堰は、江戸の人口が増えたため幕府が多摩川の水を江戸に引くために建設されたもので、特に羽村取水堰には、投げ渡し堰、固定堰といったその工法や、堰が作られた位置まで、江戸時代に造られたものが現在まで引き継がれています。また、取水堰周辺には、多摩川で形成された段丘面やその構成層を観察することができます。多摩川及び周辺の地形がどのようにできたのかについても学ぶことができます。更に、郷土博物館では、取水堰の構造を流水によるモデル実験で確認することができます。取水堰が江戸時代から現在まで機能を維持してきた所以を学ぶこともできます。初夏の清々しい空気の中を、楽しく“ジオ散歩”したいと思います。

主 催：一般社団法人日本地質学会、一般社団法人日本応用地質学会

後 援：羽村市教育委員会、一般社団法人東京都地質調査業協会

日 時：2019 年 5 月 12 日（日）10:00～15:00 小雨決行（予定）

見学場所：東京都羽村市羽村取水堰周辺

案 内 者：山崎晴雄氏（首都大学東京名誉教授）、

会 費：高校生以上・一般：1,500 円、小・中学生：500 円（保険代を含む）

（注）参加費は、当日現金をご持参ください。昼食は各自ご用意下さい。

集合場所・時間：羽村駅東口まいまいず井戸（西友隣） 10:00 集合

見学コース（予定）：10:00 まいまいず井戸→稲荷神社裏側の露頭観察→羽村導水ポンプ場→取水堰周辺→昼食（取水堰周辺）→牛柵の観察→郷土博物館（モデル実験）→解散 15 時ごろ

募集人数：30 名程度

対 象：小学生以上（主催団体の会員の申込も可）。ただし、小・中学生の方は保護者の同伴をお願いします。また、本行事は一般向け普及行事です。会員も申込可能ですが、定員を超えた場合は、非会員の一般市民の参加を優先します。また、夫婦、友人など、グループでの参加希望の場合は、それぞれの備考欄に代表者名を記入してください。グループでの応募は、本人を含め最大 4 名までとします。

申込受付期間：2019年3月30(土)～4月10日(水) (申込者多数の場合は抽選を行います。結果は4月中に郵送で全員にお知らせします)

申込方法：学会HPの申込み専用フォームまたは、FAXにてお申込み下さい。

【申込み専用フォーム】<http://www.photo.geosociety.jp/geosanpo2017.html>

【FAXの場合】記入事項1～6をすべて記入願います。メール等がない場合は“なし”とご記入下さい。1. 氏名, 2. 自宅住所(郵便物を受け取れる住所), 3. 携帯等電話番号, 4. メールアドレス, 5. 生年月日, 6. 性別 (注)小・中学生の申込の際は, 1, 5, 6について保護者の情報も明記して下さい。また, 学生の方は学年のご記入をお願いします。

申込・問い合わせ先：一般社団法人日本地質学会(担当 細矢)

電話：03-5823-1150 FAX：03-5823-1156

メール：main@geosociety.jp

HP： <http://www.geosociety.jp>

*学会HPにて情報を更新いたします。そちらもあわせてご確認下さい。